



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年12月12日
NO. 108



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

地域に学ぶ…太田の農業

今年度コミュニティ・スクールとしての歩みを始め、コロナ禍の状況を見据えながら、昨年以上にたくさんの学校外部の方々、特に太田地域の方をお招きし、行事や花壇活動、授業等の手助けをいただいています。これまで何度も載せていますが、学校外部の方との関わりはキャリア教育そのものであり、学びを深め、社会性・豊かな心等の今必要とされる資質・能力の育成に大きくつながるものです。加えて、それが地域の方であるならば、地域とのつながりや地域への思いが一層深まる「ふるさと教育」です。

太田地域以外の方々をお招きする時は、学校が直接お願いすることがほとんどですが、太田地域の方をゲストティチャーとしてお願いしたいときには、太田中の地域学校協働活動推進員（細川良隆さん）にコーディネートしていただき、学校の実情に応じた太田地域の人材を紹介いただいています。今年度本校では、授業での指導・支援に力を入れたいと考え、各教科でその道の専門の方を紹介いただいております。11月以降は多くの地域の方々にお手伝いいただき授業を進めています。

その中で、1年生の総合的な学習の時間で、農業振興情報センターの小林崇元さんを講師にお招きし（小林さんには昨年も講師をお願いしています）、「太田の農業について」学ぶ時間を12月9日（金）にもちました。



授業の中では、現在の農業の実態と太田の農業について、農業という仕事そのものについてを詳しく分かりやすく説明していただき、多くの質問に

も丁寧に答えていただきました。農業のこれまでと現実をお聞きし、普段こうだろうと頭に思い浮かべてい



た農業像が変わった生徒も多く見受けられました。メモをとりながら、真剣な態度で授業に臨んだ1年生は、農業についてのたくさんの情報を得て、この後、自分のテーマに沿ったレポートを作成します。



がんばれ先輩…大曲高校女子駅伝部



10月の県予選の結果は、新聞紙上でご存じのことと思いますが、12月25日（日）、京都で行われる全国高等学校駅伝競走大会に大曲高校が2年連続8回目の出場を果たします。そのメンバーの中に、2年生の清水川藍さん、1年生の鈴木来都さんと太田中の先輩2人がいます。大会を前に先輩2人が学校に挨拶に来てくれました。

私は大曲から通勤していますが、朝早くからロード練習している大曲高校駅伝部の選手を頻繁に見かけます。放課後の練習を加え、毎日の10km以上は軽く走っていることでしょう。そんな地道な努力が結果につながる、まさに「継続と徹底」の成果の表れだと思います。

全国大会は強豪揃いです。大曲高校女子駅伝部の皆さんには、順位はもちろん、タイムなど自分たちが設定した目標に向かってがんばってほしいと思います。もちろん太田中の全職員・全生徒、太田地域の皆さんも応援しています。12月25日のテレビ中継が楽しみです。